

意見書様式（修正文案用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

2019/9/17

No.	提出者 ※敬称略	回数	章	頁	行	本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果(案) ※事務局対応方針(考え方)	所管課
1	古謝 安子	第1回	2	87	28	【図表2-2-1-5-3】の凡例 全国（沖縄県を除く）	全国指定離島（沖縄県を除く）	図表のタイトルと凡例の表示が違う	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正	企画部地域・ 離島課
2	古謝 安子	第1回	2	98	28		さらに医師以外の医療者PT・OT・STや 栄養士など慢性疾患患者を支援する 専門職者の巡回指導を充実させる必要 がある。	医師のみでなく医療専門職者の記述 が必要である。	【原文のとおり】 専門医による離島の巡回診療の枠組 みは、県が医師や看護師等の医療ス タッフを確保し派遣を行っており、事業 実施に伴う診療報酬は、診療所の収 入とし事業を推進しているところです。 仮に、PT（理学療法士）、OT（作業療 法士）、ST（言語聴覚士）、栄養士など の専門職を離島へ派遣する場合につ いても、巡回診療と同様に既存制度の 枠組みの中で実施する必要があると 考えるものです。その場合、子ども生 活福祉部が所管する訪問リハビリテー ション等の介護保険制度の枠組みを 活用し、施策として盛り込めるかどう か、同部と調整を図る必要があると考 えます。	保健医療部 保健医療政 策課
3	古謝 安子	第1回	2	98	29	さらに、離島市町村における高齢化率 は本島と比較して高く、介護サービス 事業所等の基盤整備は本島と比較し て遅れている。	離島市町村の高齢化率は本島と比較 して高いが介護サービス事業所等の 基盤整備は弱く、特に小規模離島間 の格差は大きい。	本島との比較で遅れを示す意義はな い	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 下記のとおり修正 (修正文案) 離島市町村の高齢化率は本島と比較 して高いが介護サービス事業所等の 基盤整備は十分ではなく、必要とされ る介護サービスも各離島で異なってい る。	子ども生活 福祉部高齢 者福祉介護 課

意見書様式（修正文案用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

2019/9/17

No.	提出者 ※敬称略	回数	章	頁	行	本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果（案） ※事務局対応方針（考え方）	所管課
4	古謝 安子	第1回	2	98	31	介護サービスの提供確保、基盤拡充を図るとともに、利用者の負担軽減を図ることが求められている。	介護サービスの提供確保、基盤拡充を図るとともに、離島支援専門職者の交通費・滞在費支援など利用者の負担軽減を図る必要がある。	サービス利用を促進できる支援が必要	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 下記のとおり修正 (修正文案) 地域の実情に応じ、介護サービスを提供する事業者の運営費や各専門職等の渡航費を支援する等、介護サービスの提供確保、基盤拡充を図るとともに、利用者の負担軽減を図ることが求められている。	子ども生活福祉部高齢者福祉介護課
5	古謝 安子	第1回	2	223	12	平成27年に1万4千トンとなった。	平成26年に1万4千トンとなった。	26年から回復している。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 下記のとおり修正 (修正文案) 生産量は、平成26年には1万4千トン台まで回復した。	農林水産部園芸振興課
6	古謝 安子	第1回	2	300	14	【図表2-3-20】【図表2-3-21】の右側の凡例が表示されていない	沖縄 全国	表示する必要がある	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正	保健医療部健康長寿課
7	諸見里 安敏	第1回	2	97	37	港湾については、離島住民のライフラインを確保する上で極めて重要であるため、安全で安定した海上交通を確保・維持するとともに、引き続き岸壁や浮桟橋等の整備を進めるほか、就航率や荷役効率の向上に向けた港湾施設の増設・改良等、港湾の整備に取り組む必要がある。	海上交通は、離島住民のライフラインを確保する上で極めて重要であり、安全で安定した海上交通を確保・維持するため、引き続き岸壁や浮桟橋の整備を進めるほか、就航率や荷役効率の向上に向けた港湾施設の増設・改良等、港湾の整備に取り組む必要がある。また、船員育成機関の開設等、船員の安定確保に向けて取り組む必要がある。	港湾の重要性が書かれているが、離島住民のライフラインを確保するためには、まず離島航路の重要性をはっきり打ち出す必要がある。また、静穏度・欠航率の観点から現状の港湾を改良するだけでは済まない問題があると考えている。地域毎、離島毎に整理していかないと解決策に至らない。さらに、今後船員の確保が厳しくなる中において、法律を遵守しつつ、船を安全・安定的に運用するためには、船員を確保することが重要となってくる。	【委員の意見を踏まえ該当箇所を修正】 下記のとおり修正 (修正文案) 海上交通については、離島住民のライフラインを確保する上で極めて重要であるため、安全で安定した海上交通を確保・維持するとともに、港湾については引き続き岸壁や浮桟橋等の整備を進めるほか、就航率や荷役効率の向上に向けた港湾施設の改良に取り組む必要がある。また、航路毎の事情を踏まえ、関係機関を含めて船員の確保等に向けた取組を行う必要がある。	土木建築部港湾課 企画部交通政策課

意見書様式（修正文案用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

2019/9/17

No.	提出者 ※敬称略	回数	章	頁	行	本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果(案) ※事務局対応方針(考え方)	所管課
8	崎原 永作	第1回	2	62	11	離島・へき地については、診療所の設置や運営支援のほか、県立病院からの医師の派遣、巡回診療を行い、地域住民の医療の確保を図っている。	離島・へき地の支援については、診療所の設置や運営支援のほか、県立病院等からの医師派遣、巡回診療を行い、地域住民の医療の確保を図っている。	医師派遣は、県立病院以外も行っていることから等を挿入し、修正する。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 下記のとおり修正 (修正文案) 離島・へき地については、診療所の設置や運営支援のほか、県立病院等からの医師派遣、巡回診療を行い、地域住民の医療の確保を図っている。	保健医療部 保健医療総務課
9	崎原 永作	第1回	2	65	39	県及び民間医療機関の専門医による	県内外の専門医による	県外からの専門医の巡回診療もあることから、修正する。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 下記のとおり修正 (修正文案) 県立病院及び民間医療機関の専門医による～	保健医療部 医療政策課
10	崎原 永作	第1回	2	66	27	離島・へき地については、医療を安定的に提供する体制を維持するため、引き続き診療所への施設設備費等の補助を実施する必要がある。	離島・へき地の支援については、県は、広域的なへき地医療支援事業を企画・調整し、へき地医療対策の各種事業を円滑かつ効率的に実施することを目的とした沖縄県へき地医療支援機構を設置しており、へき地医療拠点病院のほか、関係機関・団体との連携の一層の強化を図り、へき地医療支援の充実に取り組む必要がある。	医療法に基づき策定された「第7次沖縄県医療計画」(平成30年3月)と整合を図るため修正する。P236、P240から抜粋	【原文のとおり】 医療法に基づき策定された第7次沖縄県医療計画(平成30年3月)は、沖縄21世紀ビジョン基本計画及び実施計画を補完する個別計画に位置付けられます。よって、基本計画の本文は総括的な内容とし、委員意見の内容は、引き続き医療計画において個別施策を実施していきたいと考えています。	保健医療部 医療政策課

意見書様式（修正文案用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

2019/9/17

No.	提出者 ※敬称略	回数	章	頁	行	本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果(案) ※事務局対応方針(考え方)	所管課
11	新垣 盛雄	第1回	2	97	37	港湾については、離島住民のライフラインを確保する上で極めて重要であるため、安全で安定した海上交通を確保・維持するとともに、引き続き岸壁や浮桟橋等の整備を進めるほか、就航率や荷役効率の向上に向けた港湾施設の改良に取り組む必要がある。	バリアフリーについては港湾設備のターミナルとかを考えているかどうか。この港湾施設の中にターミナルの設置など、そういったものも含まれているのか。		【委員の意見を踏まえ該当箇所を修正】 下記のとおり修正 (修正文案) 海上交通については、離島住民のライフラインを確保する上で極めて重要であるため、安全で安定した海上交通を確保・維持するとともに、港湾については引き続き岸壁や浮桟橋等の整備を進めるほか、就航率や荷役効率の向上に向けた港湾施設の改良に取り組む必要がある。 (補足説明) ・97頁での「港湾施設」とは「就航率や荷役効率の向上」に関する施設となっているため、旅客待合所は含まれていません。 ・しかしながら、旅客待合所を整備する場合は、バリアフリー関係の法令等も遵守した設計としています。 ・なお、乗降時のバリアフリーへの対応として、浮桟橋の整備を行っています。 ・委員の意見にある「ターミナル」について、ここでは「旅客待合所」として回答しています。	土木建築部 港湾課
12	古謝 安子	第1回					全体的に文章を統一したほうがよい。	全体を見ていて文章が統一されていない感じがする。例えば、一段落に一文章だけ入っていて、次に箇条書きみたいになっているところがあるかと思えば、しっかりと復帰後の情報が書かれているところもあり、もう少しきちんと統一したほうがよい。	【総合部会へ申し送り】	総合部会
13	富永 千尋	第1回					新たな振興計画を立てるに当たり、現状、不足している点等を把握する必要がある。		【確認・検討中】 部会の自由意見(別紙2-3)として整理	

意見書様式（修正文案用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

2019/9/17

No.	提出者 ※敬称略	回数	章	頁	行	本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果(案) ※事務局対応方針(考え方)	所管課
14	外間 守吉	第1回					沖縄周辺の離島と遠隔の離島は、区別していかなければいけない。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
15	嘉数 啓	第1回					振興計画では、ハードを整備してそれがどうソフトと繋がっているのか、あるいはハード・ソフトが一体になり振興しているか、分析が足りない。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
16	山城 定雄	第1回					離島・過疎地域に一番大きな課題として挙げられるのがマンパワー不足で、担い手、人材の育成こそが離島・過疎地域の発展に繋がるキーワードである。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
17	龍 秀樹	第1回					島の暮らしをより便利に、より豊かにしていくことも重要である。キャッシュレスの事業とかAI運行バスなど、効果を検証しながら、よいものは他の島に展開することが、今後、非常に大事になってくる。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
18	上里 芳弘	第1回					久米島の海洋深層水施設活用は、離島・過疎地の振興発展に大変有望な構想である。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
19	崎原 永作	第1回					離島の医療体制について、離島医療センターの設置など、きめ細かく離島のことをやっていくような仕組みが重要である。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
20	金城 清典	第1回	2	97			乗務員だけでなく空港を担う人材など、今後の離島航空路を守る人材を育成する必要がある。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	

意見書様式（修正文案用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

2019/9/17

No.	提出者 ※敬称略	回数	章	頁	行	本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果(案) ※事務局対応方針(考え方)	所管課
21	鯨本 あつこ	第1回					海ごみの処理をどうしていくのか考える必要がある。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
22	鯨本 あつこ	第1回					オーバーツーリズムで住民の生活が脅かされている。住民の心の問題に配慮する必要がある。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
23	鯨本 あつこ	第1回					沖縄はイメージがよい（優位性がある）。リモートワークやビジネスで長期滞在される方を集められる。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
24	鯨本 あつこ	第1回					インターネットを介して島外の方々との協力体制、課題解決をしていけるネットワークがつけるとよい。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
25	新垣 盛雄	第1回					入域客数だけではなくて、中身のある（質の高い）観光客の誘致が必要である。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
26	新垣 盛雄	第1回					船員確保の問題について、地元が継続して雇用できるシステムを構築する必要がある。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
27	上妻 毅	第1回					人口減について、自然増を上回る社会減が沖縄の小規模離島の実状である。今まで以上に人口減が加速していくことを想定したほうがよい。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	

意見書様式（修正文案用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

2019/9/17

No.	提出者 ※敬称略	回数	章	頁	行	本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果(案) ※事務局対応方針(考え方)	所管課
28	上妻 毅	第1回					小規模離島、あるいは過疎地域の小中学校を存続することについて、離島過疎地域の切実で切迫した重要課題に位置づける必要がある。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
29	上妻 毅	第1回					離島毎にどのような観光が望ましいのか考えていく必要がある。観光客数、観光収入など、島単位の実態をおさえられないと目標が立てられない。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
30	上妻 毅	第1回					総量規制も含めて、良質な観光を求めていくべきである。同時に、バリアフリー観光やユニバーサルツーリズムといった切り口、スペシャライズした取り組みが重要である。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
31	上妻 毅	第1回					専門人材、とりわけ医療関係の人材について、島々でどのように調達するかが非常に重要である。		【確認・検討中】 部会の自由意見（別紙2-3）として整理	
32	嘉数 啓	第1回					「小規模離島」は、総点検報告書(素案)に複数回記載があるため、定義しておいた方がよい。		【確認・検討中】 第2回部会で説明	企画部地域・離島課
33										